

“災害情報における放送と通信の連携研究会”報告

～クロスメディア・マルチプラットフォーム 住民一人ひとりへ 次世代の災害情報伝達～

■日時：2008年7月12日(土) 13:00～16:45 (12:30開場)

■会場：東洋大学白山校舎3号館3階3303教室 (文京区白山5-28-20)

■プログラム：総合司会 田代大輔 (気象キャスターネットワーク)

13:00～13:10 開会挨拶・研究活動概要 藤吉洋一郎 (大妻女子大学)

13:10～13:50 第I部 地震時の情報提供 天野 篤 (NIED・アジア航測)

招待講演：地デジ時代の災害報道・2007新潟県中越沖地震 鈴木郁子 (NHK)

話題提供：2007中越沖、2008岩手・宮城内陸地震時の171安否確認 東方幸雄 (NTT東日本)
長岡市が取り組む多様な災害情報伝達 澤 陽之 (SFF・アジア航測)

<休憩5分>

13:55～14:35 第II部 洪水時の情報提供 藤吉洋一郎

招待講演：放送と通信を活用した河川情報の提供 佐藤宏明 (FRICS)

話題提供：荒川下流河川板橋区避難訓練実験を視察して 鷹野 澄 (東京大学)
大和川河川堺市避難訓練実験を視察して 蔡 垂功 (大阪市)

<休憩15分>

14:50～15:35 第III部 韓国における災害情報提供 天野 篤

帰朝報告：韓国における携帯電話(放送と通信)を用いた災害情報伝達 中村 功 (東洋大学)

KBS(韓国放送公社)の災害放送の今 大西勝也 (大妻女子大学)

ユビキタス社会の住民一人ひとりへの防災情報提供 水上知之 (三重県)

<休憩5分>

15:40～16:40 第IV部 総合討論・総括(提言) 藤吉洋一郎

パネリスト：天野 篤 國崎信江 (子どもと大人の危機管理教育研究所)

佐藤宏明 鈴木郁子 東方幸雄 中村 功

16:40～16:45 閉会挨拶 中村 功

■開催趣旨：

防災情報がデジタルに移行し即時化・細分化が進み、ニーズへと近づいてきている。最新の仕組みを用い、住民一人ひとりにいかに伝え、減災効果を高めていくか…放送では、2011年を目前にしている地デジのデータ放送やマルチ編成、ワンセグ等、通信では、インターネット技術やモバイルの進化と普及、CBS等の新技術が活用段階に入った。

日本災害情報学会“第2次デジタル放送研究会”では、(財)放送文化基金の助成・援助を受け、放送と通信の融合の先進事例をもつ韓国視察をはじめ国内外の調査を通じ、両メディアの技術動向や特性に基づいて、どう組み合わせれば、災害情報の伝達に有効になるか探った。

今般、地震時、洪水時、韓国との対比という切り口から、調査研究成果等を報告し、公開討論を行う。

※プログラムが一部変わりました

災害情報学会 デジ研 2

KBS (韓国放送公社)
地デジを用いた韓国のデータ放送サービス



OMNITEL

韓国消防防災庁から携帯へ緊急発信される
CBS災害文字放送サービス

2008.3.14
水上知之撮影



【会場案内】

都営地下鉄三田線「千石」駅
・A1出口から「正門・西門」徒歩8分

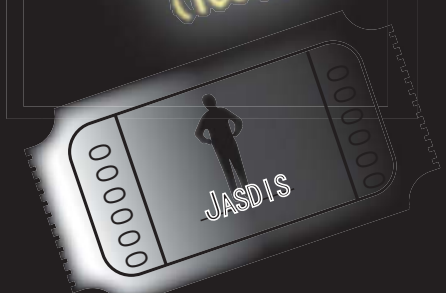
都営地下鉄三田線「白山」駅
・A3出口から「正面・南門」徒歩5分
・A1出口から「西門」徒歩5分

東京メトロ南北線「本駒込」駅
・1番出口から「正門・南門」徒歩8分

- ①白山キャンパスで一番高い16階建ての建物(2号館)に入ってください。
- ②守衛室のある入口から入り、エレベータホールを抜けて少し奥に行きます。
- ③すぐ3号館につながり、右手に7階どまりのエレベータがありますので、それに乗って3階までお越してください。
- ④廊下を右前方向に進むと、100余名収容の3303教室が右にあります。隣室で授業が行われているのでお静かに。



一般公開
参加無料
申込不要
(100名)



日本災害情報学会

〒160-0011

東京都新宿区若葉1-22

ローヤル若葉505号室

電話：03-3359-7827

FAX：03-3359-7987

E-mail:tokio@jasdis.gr.jp

http://www.jasdis.gr.jp/